

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域の人達との関わりを多くしていきたい。	地域の社会福祉協議会の行事に参加し、馴染みの人との面会やコミュニケーションを図ることで、地域との関わりを多くする。	年に2回程度配布される社協だより等を活用し、行事に参加してもらう。	6か月
2		ゴミ拾いの奉仕により、地域に密着した一人の町民として、利用者に自覚を持ってもらいたい。	利用者に地域に密着した一人の町民としての自覚を持ってもらう。	5月、9月末等の気候の良い時期に、参加できる利用者に声かけをし、体育館等、公共の広場のゴミ拾いを実施していく。	6か月
3		職員の資格取得を図る。	職員の資格取得をすすめ、介護のスキルアップを図り、介護職員処遇改善交付金を受けるための要件を整備していく。	介護福祉士、介護支援専門員の受験資格を有する職員に声かけをする。	10か月
4		中・高校生の学習体験受け入れについて、開設当初は、職員の中に指導者がいない等、受け入れ体制等の構築までには至っておらず、受け入れていなかった。	中・高校生の学習体験の受け入れをする。	現在は、中・高校生の学習体験の受け入れができる体制にあり、実施できるよう働きかけていく。	6か月
5		運営推進会議への家族の参加を促し、何を求めているのか、足りない点があるか等、家族の意見を集約していく。	運営推進会議等を通じ、家族にホームの取り組み等の内容を理解してもらう。	運営推進会議の開催日や時間について家族にアンケートをとり、参加してもらう。	4か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。